

弦場山ウバメガシ(遺伝資源)希少個体群保護林



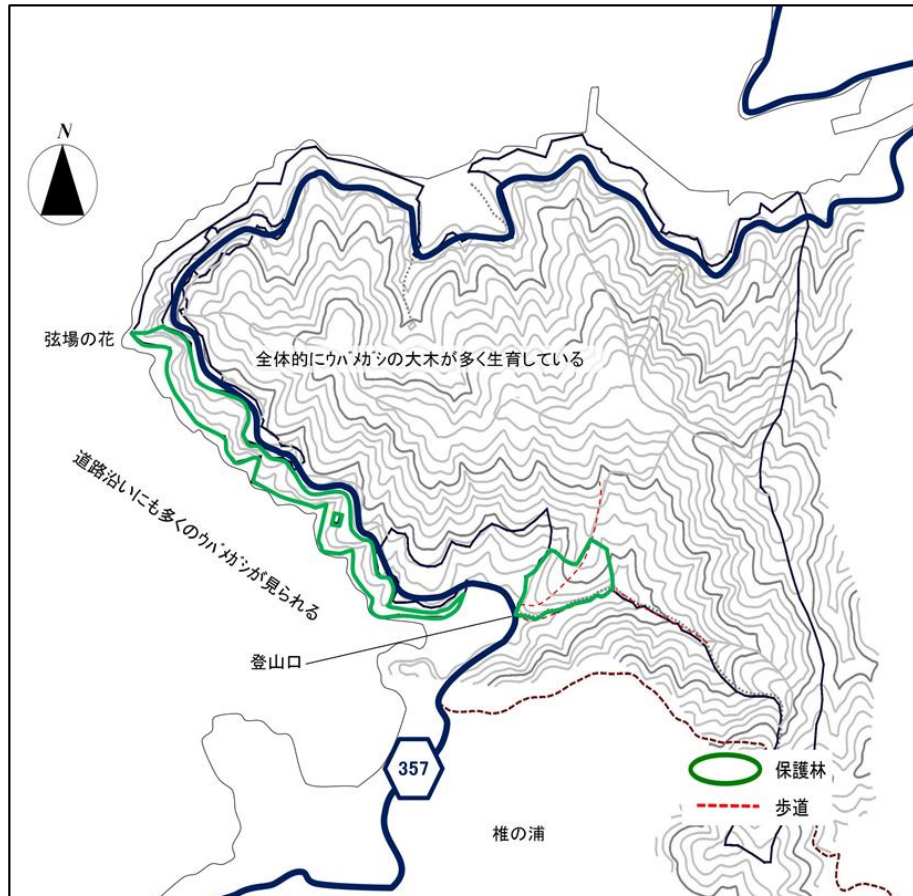
ウバメガシは、潮風の影響を受ける海岸地帯に多く分布し、その上限は海拔 800m 付近とされています。

また、材が非常に固いため、備長炭の材料として重宝されます。

当保護林は、県道 357 号線のすぐ上方と県道沿い下側にあり、ダークグリーンの純林は、黒潮と一体となって暖温な雰囲気漂わせています。

【保護林マップ】

弦場山ウバメガシ (遺伝資源) 希少個体群保護林マップ



歩道入口はやや分かりにくいですが、保護林の看板が目印です。

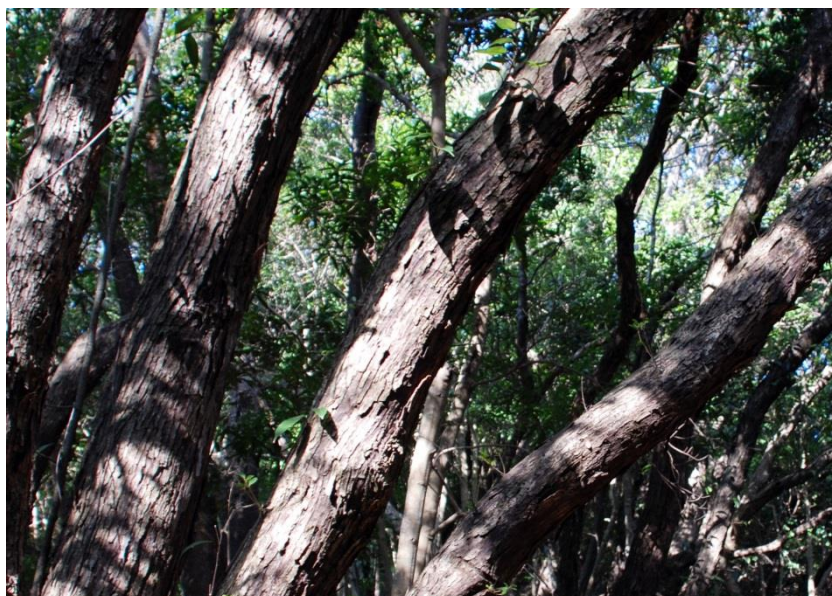
【上空から見た保護林】



保護林は弦場の鼻（半島）の付け根にあります。

【ウバメガシの特徴】

ウバメガシは暖地の海岸沿いに多く、通常は低木林が多いですが、当保護林には樹高 18m に及ぶ高木が林立しています。



ウバメガシの幹

樹皮は黒褐色で、写真のような老木は縦に浅い裂け目がある。



ウバメガシの葉

葉は光沢があり厚く固い。倒卵形で長さ3～6cm、周辺には鋸歯がまばらにある。



備長炭造りの様子（高知県室戸市にて撮影）